



特集

明石市制施行100周年記念 フォトコンテスト  
特別展 KAGAYA写真展 世界に星空を求めて

「逆さのオリオン」撮影：KAGAYA（南米チリ、パタゴニアにて）

撮影者コメント…南半球に行くと、子供の頃から見慣れたオリオン座が逆さに見えました。わたしが初めて「地球は丸いんだ」と実感した光景です。



# 明石市制施行100周年記念

## Photo contest フォトコンテスト

— 2019年、時のまち明石は100周年 —

明石市制施行100周年を記念し「明石市立天文科学館のある風景」の写真を募集しました。  
様々な場所、季節、時間の天文科学館のある風景が届きました。  
優秀賞の作品をご紹介します。

- ★優秀賞の作品(10作品)で、市制施行100周年記念切手を作成します。
- ★優秀賞の作品の展示を天文科学館にて行います。(展示期間:6/1(土)~7/7(日))

氏名: 児島 崇志さん  
撮影場所: 天文科学館南側付近  
撮影時期: 2017年3月17日



作品説明: いち早く春の訪れを告げる河津桜をついばむメジロと天文科学館の時計台

氏名: 飯田 奈々さん  
撮影場所: 人丸前駅  
撮影時期: 2016年10月16日



作品説明: 12時ちょうどの科学館の時計を撮影。

氏名: 四方 ありさん  
撮影場所: ウイズあかし8階フリースペース  
撮影時期: 2019年1月16日 15時30分頃



作品説明: 天文科学館と虹。とてもはっきりと鮮やかに出現！  
その場にいた皆が幸せな気分になり歓声を上げていた。

氏名: 塩岡 太地さん  
撮影場所: 明石市立天文科学館  
撮影時期: 2012年11月



作品説明: 天文科学館といえば日本一古いプラネタリウムです。この当時に稼働期間が世界5位となり話題になりました。プラネタリウムに行くのが好きでいろいろ施設を巡っています。落ち着いた雰囲気天文科学館のプラネタリウムはとも思い出に残っています。

氏名: 大山 博さん  
撮影場所: 淡路 岩屋  
撮影時期: 2019年2月18日



作品説明: 明石市自慢の天文科学館及び 岩屋港と明石港を航行する連絡船の白い船体に描いた蛸や紅い絵模様が夕日に輝く美しい風景写真として切り取りました。

氏名: 珍田 隼さん  
撮影場所: 明石市東人丸町  
撮影時期: 2019年2月24日



作品説明: この日は美しい夕焼けでした。天文科学館の時計塔と夕陽が一直線に並ぶ構図で撮影しました。

氏名: 丸尾 守一さん  
撮影場所: 柿本神社  
撮影時期: 2019年2月23日



作品説明: 北側、即ち 柿本神社の方角から撮影しました。天文科学館と石灯籠の新旧のコラボです。

氏名: 斎寺 義則さん  
撮影場所: 人丸前駅  
撮影時期: 2019年2月23日



作品説明: 山陽電車人丸前駅ホーム上り側に並走するJRの電車をフレームに取り込み撮影しました。

氏名: 賀集 正敬さん  
撮影場所: 明石市立天文科学館前歩道  
撮影時期: 2019年2月2日 17時51分



作品説明: 夕焼けから、刻々と藍色に染まりゆく風景が、愛する明石のシンボル、明石天文科学館の歴史の深みと重なります。今尚、淡い輝きを発して現役で頑張る姿が美しい。

氏名: 後藤 幸司さん  
撮影場所: 明石市人丸町  
撮影時期: 2019年2月20日



作品説明: 今年一番大きいと言われるスーパーmoon(一日遅れ。.)と科学館が接近したところを狙って撮影しました。当日は雲が多く月が出るか微妙な天候でしたが、良い時間帯に雲が無くなり、きれいな月様が顔をしてくれました。大きな月と科学館のコラボレーションは大変きれいでした。



## 左 コロラド川の夕暮れ

撮影地：アメリカ・アリゾナ州、ホースシューベンド  
日が沈むと、それを追うように月が沈んでゆきます。大地と夕映え、月光の色彩が混ざり合い、やがて満天の星に包まれます。

## 上 ジュラ紀の丘

撮影地：アメリカ・アリゾナ州  
大地に現れた地層は2億年前のジュラ紀のもの。一晩中その地層で歩き回ったり、寝転がったりしながら撮影しました。

◀「コロラド川の夕暮れ」撮影場所の明るいときの様子です。眼下の谷底まで高さ300メートル。三脚をぎりぎり立てています。夜は真っ暗で踏み外さないかとやや怖かったです。



▶アリゾナで寝た車の上のテント。草むらには毒ヘビやサソリがいるそうで、これなら安心です。



## 星降る湖

撮影地：ニュージーランド南島

夜中に撮影中、足元でガソゴソ音がしてびっくりしましたが、かわいらしいウサギでした(たぶん)。



▶「星降る湖」を撮影した場所は、人がやっと入れるくらいの狭い場所で、見晴らしをよくするために三脚は水の中にたてました。

## KAGAYA

宇宙と神話の世界を描くアーティスト。プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」が全国で上映され観覧者数100万人を超える大ヒット。一方で写真家としても人気を博し、写真集『星月夜への招待』『天空讃歌』『悠久の宙』『星と海の楽園』、フォトエッセイ集『一瞬の宇宙』を刊行。写真を投稿発表するTwitterのフォロワーは約60万人を超える。天文普及とアーティストとしての功績をたたえられ、小惑星11949番はkagayayutaka(カガヤユタカ)と命名されている。



## KAGAYAさんに質問をしました

- Q** Twitterでも素敵な写真を頻繁に紹介されていてお忙しいようですが、寝る時間はありますか？
- A** 撮影に出ているときはあまり寝ていませんが、スタジオで制作しているときはたっぷり寝ています。夜明けごろ、目覚ましをかけずに寝て、だいたいお昼過ぎに目が覚めます。
- Q** いろいろな場所に行かれています。旅先で美味しかった食べ物はありますか？
- A** ソフトクリームのお店を見かけるとつい頼んでしまいます。特に北海道はいいですね。真冬はあまりお店やっていないのですが、氷点下10度以下ですとソフトクリームも固めになってしまうのですよ。



## 特別展 KAGAYA 写真展

世界に星空を求めて  
今回ご紹介した「逆さのオリオン」「コロラド川の夕暮れ」「ジュラ紀の丘」「星降る湖」など、KAGAYAの撮影した、美しい写真を展示します。

★展示期間  
2019年7月14日(土)～9月8日(日)  
★展示場所  
天文科学館 3階特別展示室



## 木星と土星を観察してみよう

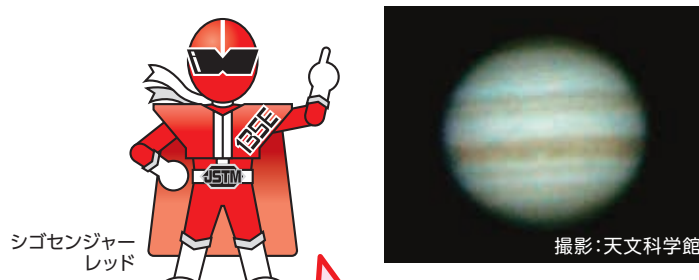
今年<sup>ことし</sup>の夏<sup>なつ</sup>、木星<sup>もくせい</sup>と土星<sup>どせい</sup>が、  
ほぼ一晩中<sup>ひとばんじゅう</sup>観察<sup>かんさつ</sup>することができる  
見頃<sup>みごろ</sup>をむかえているんだ。  
木星<sup>もくせい</sup>と土星<sup>どせい</sup>は、地球<sup>ちきゅう</sup>と同じ、  
太陽<sup>たいよう</sup>の周り<sup>まわ</sup>りをまわる惑星<sup>わくせい</sup>だ。  
この機会<sup>きかい</sup>にじっくり観察<sup>かんさつ</sup>してみよう。



2019年7月中旬午後9時頃の空

## Q 木星と土星は望遠鏡で観察するとどんな風に見えるの？

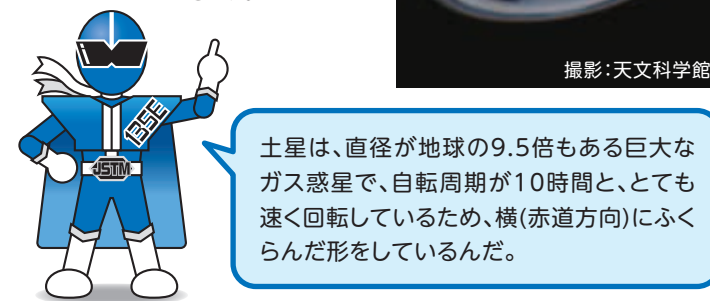
**A** 木星は、シマシマもようと、周りをまわっている4つの衛星(えいせい)が観察できるぞ。



木星には、60個以上の衛星がまわっているんだ。その中でも観測しやすいイオ・エウロパ・ガニメデ・カリストの4つの衛星は、イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが発見したので「ガリレオ衛星」と呼ばれているぞ。



**A** 土星は、リングを持つ姿が観察できるんだ。よく観察すると、土星本体が少し横にふくらんでいることや、リングには、すきまがあることなどがわかるぞ。



土星は、直径が地球の9.5倍もある巨大なガス惑星で、自転周期が10時間と、とても速く回転しているため、横(赤道方向)にふくらんだ形をしているんだ。



## シルバー天文大学・卒業式 3月14日(木)

シルバー天文大学は、60歳以上を対象とした連続講座です。2002年度にはじまり、2018年度は第20期となりました。第20期は、毎月のプラネタリウム話題について、当館学芸員が、より深くお話しをしていく6回の講座でした。最終日となる3月14日には、過去5回の講座をふりかえる卒業試験と卒業式(卒業証書授与)、記念撮影が行われ、200名を超える参加者が、無事、卒業されました。



## シゴセンジャーファンクラブイベント 3月24日(日)

2018年度第2回目のシゴセンジャーファンクラブイベントを実施しました。館長あいさつ、シゴセンジャーが出演したACTVの番組「ええやんあかし」の上映に続き、キッズプラネタリウムを投影しました。後半には、シゴセンジャーとブラック星博士と会場のみなさんと一緒に「2018年度思い出のスライドショー」で2018年度を振り返りました。最後には、オーロラを眺めて締めくくりました。



## シゴセンジャー春場所 3月21日(木・祝)・23日(土)・24日(日)

シゴセンジャー春場所では、春の星空を舞台にシゴセンジャーとブラック星博士が、クイズで激突!そこへしごまるやシゴセンオーも加わり、気が付けばオーロラの下へ...

シゴセンジャーのコスプレをした4月から高校生になる中学生達も現れ、大盛り上がる春場所となりました。今後の展開もお楽しみに!



## ダジックアースがやってきた! 3月23日(土)~4月7日(日)

春休み期間限定で3階展示室にダジックアースを展示しました。ダジックアースは、球形のスクリーンに地球や惑星等の観測映像を投影したもので、大迫力の映像で楽しんでいただける展示です。来場者の方には、設置したパソコンを操作し、様々な角度から天体を学んでいただきました。



## 特別展「双眼鏡の歴史展」ギャラリートーク 3月24日(日)

2月2日から4月7日まで開催していた特別展「双眼鏡の歴史展」に、多数の双眼鏡資料を提供くださった中島隆さん(国立科学博物館)を招いて、ギャラリートークを行いました。日本の双眼鏡製作の歴史を資料や展示品とともにお話いただき、参加された方からの質問もあり、活発なギャラリートークとなりました。



## 石ケ谷公園天体観望会 4月12日(金)

明石中央体育会館でスポーツ無料開放(フリーキック、卓球、バドミントン)を体験した後、石ケ谷公園で天体望遠鏡を使って、月や星の様子を観察しました。石ケ谷公園で天体観望会を実施するのは当館としても初めての試みでしたが、満開の桜に囲まれた広場での観望会に参加者からも大変好評をいただき、楽しい観望会となりました。



## 天文科学館 一日館長(科学技術週間イベント) 4月20日(土)

「科学館」により親しんでもらうために、明石市内の小学校6年生を2名招いて、「一日館長」イベントを実施しました。応募者の中から、沢池小学校の谷和磨さんと大久保小学校の鈴木萌花さんが一日館長に就任。2人とも天文科学館が大好きで、色々な思い出があるという、適任者です。当日、色々な仕事の中で、来館したお客様に向けて、楽しい紙芝居とクイズを披露しました。谷さんは星に詳しく、ママ解説をはさみ、鈴木さんは館長の影響を受けて、ダジャレを連発。ナイスコンビでお客様を楽しませ、天文科学館の魅力を広めてくれました。



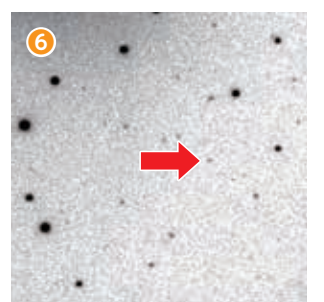
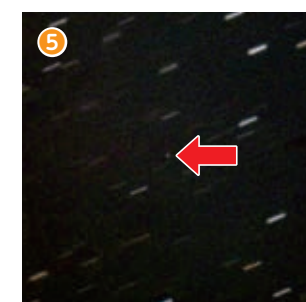
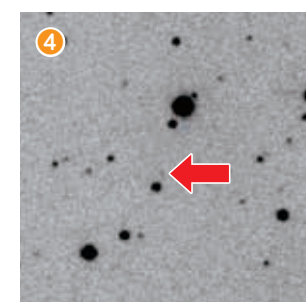
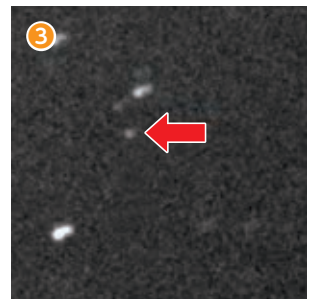
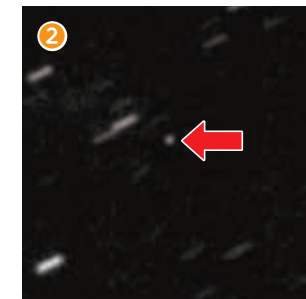
## おしながき 今夜の星空献立表

## TONIGHT THE STARS MENU

小惑星「シゴセンジャー」は、2019年3月~4月にかけて地球に近い位置になり、観測の好機を迎えました。とはいっても、非常に暗く19~20等級で、残念ながら都市の光の影響が大きい当館では撮影困難。そこで全国の天文台が、小惑星「シゴセンジャー」の姿を撮影してくれました。ありがとうございました!小惑星「シゴセンジャー」に関しては、11月のプラネタリウム番組で詳しく紹介します。

### 写真提供

- 1 星の子館 中野 由莉さん、姫路科学館 安田 岳志さん (2019年4月5日)
- 2 久万高原天体観測館 藤田 康英さん (2019年4月6日)
- 3 鳥取市さじアストロパーク 織部 隆明さん (2019年4月5日)
- 4 なよろ市立天文台 渡辺 文健さん (2019年 4月 9日)
- 5 りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台) 中島 克仁さん (2019年4月7日)
- 6 阿南市科学センター 権藤 貴士さん (2019年4月27日)



「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

広い視野で使いやすい  
6倍、8倍の入門機

シリーズ  
**YFseries**

防水

**YF30-6** (6×30)  
希望小売価格(税別) ¥11,000

**YF30-8** (8×30)  
希望小売価格(税別) ¥12,000

星が見えにくい都市近郊でも  
双眼鏡を使うことで  
肉眼では見えなかった  
多くの星たちが見えてきます

感動・視体験  
**コーワ双眼鏡**  
Kowa Binoculars

コーワは60年以上にわたり光学機器を製造する双眼鏡のトップブランド企業です

防水

**SV32-8**  
希望小売価格(税別) ¥22,000

優れた光学性能を  
高いコストパフォーマンスで実現

シリーズ  
**SVseries**

防水

国内営業部コンシューマー課 <http://www.kowa-prominar.ne.jp>  
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目11番1号 東興ビル TEL:03-5614-9540

**Kowa** 興和光学株式会社

## プラネタリウム一般投影

### ★ふたたび月へ～月面着陸から50年～

7月2日(火)～31日(水)

1969年にアポロ11号により、宇宙飛行士が月に行ってから、今年で50年となります。アポロ探査と未来の月旅行についてお話しします。



### ★消える!? 土星のリング

8月1日(木)～31日(土)

今年、8月の夜空に太陽系の惑星・土星が見つかります。土星のチャームポイントのリングは、氷の粒でできています。そして、1億年以内に消えると考えられています。土星のリングについてお話しします。



### ★江戸時代の星空でござる

9月1日(日)～29日(日)

2019年は、明石城築城400周年記念の年です。明石城は、初代明石藩主小笠原忠政が、1619年(元和5年)に築城しました。江戸時代の人々はどんな星空を見ていたのでしょうか? 江戸時代の星空や星座についてお話しします。



## ★キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日の第2回目の投影に実施します。(学校長期休業中は第2回目と第4回目)

### ★たなばたアワー

6月1日(土)～7月7日(日)  
平日 9時50分～／11時10分～  
土日 11時10分～

※6月10日(月)は「時の記念日」のため、たなばたアワーはありません。



たなばたの物語や、夏の星座、宇宙のお話をわかりやすくお話しします。

### ★もくせいとどせいのひみつ

7月20日(土)～9月1日(日)  
11時10分～／14時30分～



今年、夏の夜空に木星、土星など、太陽系の惑星が見つかります。木星、土星は、どんな星なのでしょうか? 太陽系の惑星たちについてお話しします。

### ★おつきみアワー

9月3日(火)～10月31日(木)  
平日 9時50分～／11時10分～  
土・日・祝 11時10分～

※平日は団体予約がある場合のみ、第1回目または第2回目の投影があります。



身近な月について、小さなお子さまでもわかりやすくお話しします。当館のねずみのキャラクター「ちょうすけ」も登場し、一緒に月旅行をします。また、季節の星座や、日本に伝わる月の昔話「かぐや姫」も紹介します。

## こども天文教室

第3または第4土曜日の9:50～のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。

- 7月27日(土)「夏休みの天体観測」
- 9月28日(土)「太陽系のひみつ」

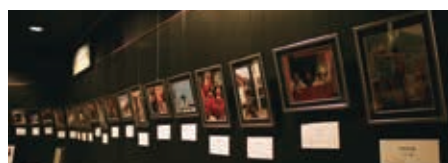


## ★特別展

### ★古時計展／時計のある風景写真展

6月1日(土)～7月7日(日)

珍しい時計と、時計のある風景・写真コンテストの入選作品を展示します。



### ★KAGAYA写真展 世界に星空を求めて

7月13日(土)～9月8日(日)

デジタルグラフィックアーティスト・KAGAYAの撮影した、美しい写真を展示します。



### ★夏休み・児童生徒作品展

9月14日(土)～10月14日(月・祝)

小中学生の夏休み・理科自由研究などの作品展示。



## 休館日のお知らせ

| 7                    | 8                    | 9                    |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| 日 月 火 水 木 金 土        | 日 月 火 水 木 金 土        | 日 月 火 水 木 金 土        |
| 1 2 3 4 5 6          | 1 2 3                | 1 2 3 4 5 6 7        |
| 7 8 9 10 11 12 13    | 4 5 6 7 8 9 10       | 8 9 10 11 12 13 14   |
| 14 15 16 17 18 19 20 | 11 12 13 14 15 16 17 | 15 16 17 18 19 20 21 |
| 21 22 23 24 25 26 27 | 18 19 20 21 22 23 24 | 22 23 24 25 26 27 28 |
| 28 29 30 31          | 25 26 27 28 29 30 31 | 29 30                |

赤字：開館  
青文字：休館

## 天体観望会の申し込みについて

- ◆参加料 1人300円 ◆電話番号 (078) 919-5000
  - ◆申込方法 開催日の1ヶ月前から前日17時までに電話又はHPからお申し込み下さい。 ◆定員 100名
- 代表者の氏名・参加人数・電話番号・駐車場の利用の有無をお知らせ下さい。駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

| 7月                                                                                     | 8月                                                                                                                                | 9月                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 7月2日(火)～7月31日(水)<br>「ふたたび月へ～月面着陸から50年～」                                                | 8月1日(木)～8月31日(土)<br>「消える!? 土星のリング」                                                                                                | 9月1日(日)～9月29日(日)<br>「江戸時代の星空でござる」                          |
| ★～7月7日(日)<br>「たなばたアワー」                                                                 | ★7月20日(土)～9月1日(日)<br>「もくせいとどせいのひみつ」                                                                                               | ★9月3日(火)～10月31日(木)<br>「おつきみアワー」                            |
| 🕒～7月7日(日) 🕒7月13日(土)～9月8日(日)<br>「古時計展/時計のある風景写真展」                                       | 🕒7月13日(土)～9月8日(日)<br>「KAGAYA写真展 世界に星空を求めて」                                                                                        | 🕒9月14日(土)～10月14日(月・祝)<br>「夏休み・児童生徒作品展」                     |
| 7月27日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～)<br>「土星、木星、アルビレオ(はくちょう座の二重星)」                             | 8月3日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～)<br>「土星、木星、アルビレオ(はくちょう座の二重星)」                                                                         | 8月24日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～)<br>「土星、木星、アルビレオ(はくちょう座の二重星)」 |
| 9月29日(日) 19:00～(受付18:30～)<br>「特別天体観望会」【事前申込制】<br>土星、天王星、海王星、M15(ペガスス座の球状星団)、アンドロメダ銀河など | ～特別天体観望会への参加方法～<br>開催日の3週間前(必着)までに往復はがきにより、代表者名・参加人数(4名まで)・住所・電話番号・参加希望日・駐車場の利用の有無を記入してください。(応募多数時抽選/定員20名・参加費500円) 駐車場ご利用は別途200円 | 9月28日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～)<br>「M15(ペガスス座の球状星団)、土星」      |
| 7月27日(土) 9:50～10:40<br>【事前申込なし】「夏休みの天体観測」                                              | 9月28日(土) 9:50～10:40<br>【事前申込なし】「太陽系のひみつ」                                                                                          | 9月28日(土) 9:50～10:40<br>【事前申込なし】「太陽系のひみつ」                   |
| 7月7日(日)【3部制】<br>「七夕ナイトミュージアム」                                                          | 9月14日(土)【3部制】<br>「お月見ナイトミュージアム」                                                                                                   | 9月13日(金) 19:30～21:00<br>「明石公園・観月会」                         |
| 7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)<br>11:10～12:00【当日整理券制】<br>「シゴセンジャー夏場所」                        |                                                                                                                                   |                                                            |

略号 プラネタリウム一般投影 キッズプラネタリウム 特別展 こども天文教室 星と音楽のプラネタリウム 季節イベント 観望会 ナイトミュージアム

## ベビープラネタリウム

乳幼児(0～4歳くらいまで)のお子さんと保護者の方が対象のプラネタリウムです。親子で一緒にプラネタリウムをお楽しみください。

※投影時間約30分 10時～

- 定員 250名 ●参加費 入館料のみ
- 日程……………申し込み開始日  
9月6日(金)……8月6日(火)～  
9月20日(金)……8月20日(火)～
- 申込方法  
電話またはホームページにて先着順に受付  
※定員になり次第締め切り

## 最新天文ニュース解説

おすすめの天文現象や最新の天文ニュースをわかりやすく解説します。

- 7月20日(土) ●9月14日(土)  
9時50分～のプラネタリウム投影

## その他のイベント

### ★七夕ナイトミュージアム

7月7日(日) 19時開演(18時30分開場)

- 参加費 1,000円(駐車料金:別途200円)
- 定員 270名
- 申込方法 6月1日より電話またはホームページから先着順に受付。
- 内容 【第1部】 19時～19時45分 講演会「ヨーロッパの塔時計・天文時計について」(講師:佐々木 勝浩(国立科学博物館 名誉研究員))
- 【第2部】 20時～20時45分 星と音楽のプラネタリウム特別版(出演:熊谷 朋久(ギター))
- 【第3部】 日時計広場にて天体観望会(21:30まで/天候により中止)



佐々木 勝浩



熊谷 朋久

### ★軌道星隊シゴセンジャー夏場所

7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)

- 11時10分～12時(当日整理券制)



キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場!

## Information ご利用案内

### ★プラネタリウム投影開始時刻 (1回の投影時間は、約50分間です。)

|                       | 第1回目                 | 第2回目                  | 第3回目  | 第4回目                  | 第5回目  |
|-----------------------|----------------------|-----------------------|-------|-----------------------|-------|
| 平日                    | 9:50<br>(団体予約がある時のみ) | 11:10                 | 13:10 | 14:30                 | 15:50 |
| 土・日・祝日                | 9:50                 | 11:10<br>(キッズプラネタリウム) | 13:10 | 14:30                 | 15:50 |
| 学校長期休業中<br>(7/20～9/1) | 9:50                 | 11:10<br>(キッズプラネタリウム) | 13:10 | 14:30<br>(キッズプラネタリウム) | 15:50 |

### ★休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始。

ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

### ★開館時間

午前9時30分より午後5時まで (入館は午後4時30分まで)

### ★観覧料

|                  | 大人 (高校生以下無料) |
|------------------|--------------|
| 一般               | 700円         |
| 団体 (30人以上100人未満) | 630円         |
| 団体 (100人以上)      | 560円         |
| 年間パスポート          | 2,000円       |

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。

※高齢者割引、障害者割引を行っています。

※明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円 (65歳以上) が無料になります。

※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

### ★駐車場

普通乗用車・マイクロバス (約90台): 2時間まで200円 (以降1時間ごとに100円) / 大型バス (8台): 1回1,500円

### ★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も20,000日を超え日本一です。



- JR 明石駅下車 東へ1km (徒歩約15分)
- 山陽電車 人丸前駅下車 北へ約0.2km (徒歩約3分)
- 車では国道2号線 人丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷 I.C. から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6km で国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km (約20分)

## 明石市立天文科学館

<http://www.am12.jp/> ツイッター @jstm135e

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6

TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000

e-mail: otoiwase-tenmon@city.akashi.lg.jp

# SEIKO

お問い合わせ先: セイコークロック株式会社 お客様相談室 0120-315-474 (9:30～17:30 土・日・祝祭日を除く) <http://www.seiko-clock.co.jp/>